

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 豊橋市立津田小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫 \_\_\_\_\_）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒440-0093

愛知県豊橋市横須賀町宮元3番地の1

E-mail [tsuda-e@toyohashi.ed.jp](mailto:tsuda-e@toyohashi.ed.jp)

Website <http://www.tsuda-e.toyohashi.ed.jp/tsuda-e/index1.htm>

幼児児童生徒数 男子 85名 女子 99名 合計 184名

幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、豊橋市のESD教育としてキーワードとなる「人をつなぎ 未来へつなぐ 豊橋の教育」を実現していくために、校区・地域の方々とのつながりを大切に、環境保全の気持ちを高めていくために、自然物に触れる栽培活動にも力を入れて活動している。

ESD教育を通して育みたい資質・能力として、多面的、総合的に考える力・コミュニケーションを行う力・つながりを尊重する態度を中心に据えて、各教育活動を推進している。

具体的には、一年間、四季の移り変わりに沿って行事を設定し、各学年がその行事に何らかの形でかかわり、人と人とのつながりを育みながら実践を重ねている。

以下に、ESDの主旨を本校教育活動によって実現するための、実践を報告する。

### ① 田植え【4・5・6年生】

学校から10メートルほどの所に、地域のAさんに管理していただいている学校田がある。6月上旬に、Aさんから田植えまでの準備（田起こし、害

虫の駆除、代かき)や苗の植え方(根の上の部分をもって苗代から取り、指先に挟んで植える)を学び、高学年の児童が田植えを行った。子どもたちは、田んぼが人の手によって整備され、稲が生育する環境に整えられていることを実感した。

② 稲刈り【5年生】

稲穂の実りを確かめ、11月上旬に地域のAさん・Bさんから鎌を使った稲刈りの仕方を教わり、稲刈りをした。「今はコンバインで稲刈りしているが、稲の育ちを実感し、実りの喜びを感じ取ってほしい」というAさんのお話を聞き、1時間ほど稲刈りをした。慣れない鎌の扱いに苦労しながら作業を行い、収穫の楽しさを実感した。

この活動を通してAさんへの感謝とともに豊かな自然のある小学校区に住むことのよさを再確認した。

③ もちつき大会(1月)【5年:企画 その他の学年:参加】

1月中旬、5年生が刈り取ったもち米を、おもちにして全校で収穫を祝った。もちつき大会には、毎日の登下校でお世話になっている見守り隊の皆様にもいらしていただいた。ホスト役の5年生はAさんにもち米の蒸し方やつき方を教えていただき、ボランティアの保護者の方と一緒に5升を超えるおもちと、好みに合わせて食べられるようにきな粉やあずきあん、大根おろしを準備した。おいしいおもちを口いっぱいにはおぼり、笑顔いっぱいのもちつき大会になった。

全児童が、校区の自然と米づくり、餅づくりに関わっていただいた方への感謝の気持ちを強くした。

④ やきいも集会【3年生:企画, 1・2年:参加】

10月下旬、さわやかな秋晴れのもと、1年生から3年生までの津田っ子が、本年度より準備した校内サツマイモ花壇を使って栽培したイモを使用する、恒例の「焼きいも集会」を開いた。

集会には、日頃お世話になっている見守り隊の皆さんを招待した。3年生は、進行を担当し、体育館いっぱいに行った遊びのコーナーを準備し、お兄さんお姉さんとして1, 2年生や見守り隊の皆さんを楽しませることができた。会食では、割ってみると黄金色に焼きあがったイモに歓声があがり、子どもたちは口いっぱいにはおぼって秋の味覚を味わった。焼きいも集会で、子どもたちは見守り隊の皆さんと一緒に、楽しくおいしい時間を過ごすことができた。

① 田植えの写真



② 稲刈りの写真



③ もちつき大会の写真



④ 焼きいも集会の写真



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

第3学年：パンフレット「地球のいのち、つないでいこう」 発行 福岡県環境部自然環境課
---

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

「総合的な学習の時間」で取り扱う活動として、ESD 的な視点をもった単元を指導計画に位置付けている。各学年の発達段階を加味して、育みたい資質・能力を設定し、教材となる「自然」「地域」「人々」「伝統」といった分野から、取捨選択し単元を構成している。ユネスコスクールの認定を受ける前から行われていた単元についても、ESD につながる内容が含まれているので、それらの単元を ESD 的にブラッシュアップし、指導計画に位置付けている。

具体的な指導方法については、単なる調べ学習にとどまるのではなく、問題解決学習として成立させていくために、子どもの思考を引き出し、主体的な活動へと導くアプローチを意識している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

職員全員が共通認識のもと、子どもたちの成長に向けて指導に取り組めるように、ESD 担当から、ユネスコスクールとして活動を続けていくための指針等を、校内現職研修で示している。また、自然や環境といった課題に偏りがちな現状を変えていくために、異文化交流や国際理解、防災など、新たな分野を開拓しようと努めている。

ESD を意識した活動が継続していくように、各学年の取り組みにおいて作成した書類データを蓄積し、引き継いでいく体制をつくっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

各学年における取り組み（ESD 的な学習活動）を、学校通信や学校新聞・学年通信で発信し、本校の保護者に学習内容を理解していただけるように努めている。学校評価の数値や記述を受け止め、よりよい学校の在り方を目指している。また、指導計画を見直す機会があるときは、ESD 的な単元のよい点や反省点を話題に挙げている。その結果、国語・社会・理科・生活で扱う単元や行事の中にも、ユネスコスクールとして活用できる内容がたくさんあることに気づき、それらの単元を横断的に関わらせていくことで、新しい効果を生み出していく必要があると感じている。また、そのような取り組みを、ESD 学習カリキュラムとして、再度構築し直したいと感じている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

第3学年において、生物多様性に関わる学習を行った。その発信方法として、校内学芸会で発表する劇を「環境破壊」・「生物多様性」・「環境保全」の観点からつくり上げ、学習内容を地域の方々や他学年に発信した。このように大きな舞台で注目される機会を活用し、ESD の概念を発信する単元計画とすることで、子どもたちに達成感を味わせることができる。

3年生の学習は、平成29年度ユネスコスクール豊橋大会において、ポスター形式で報告した。このポスターを本校の授業参観時も掲示し、保護者へも詳しい内容が伝わるようにした。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

地域の方々とのつながりを深め、地域を愛する心を育むために、校区内の施設見学などを数多く企画し実施した。また、「家族ふれあい学級」と題し、地域の方を講師とした体験活動(ヨガ・こんにやくづくり・ロープワークなど)を企画し、親子で参加する時間をつくりだした。また、豊橋市内の他校と情報交換をするブロック現職研修を取り入れたり、平成29年度ユネスコスクール大会で発表された内容を校内職員で共有したり、外部とのつながりを構築していくことに努めた。

その他、田植え・稲刈り・餅つき大会など、地域の人々に学ぶ機会を大切にしている

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

豊橋市内の小中学校すべてがユネスコスクールに登録しているため、互いの取り組みを参考にして、新しいESD活動を模索している。市内全域でESDに力点をおいた活動が実施されているため、自然に新しい「考え」や「視点」が本校に入ってくることになる。今後も、既存の活動だけに留まるのではなく、変化し続けるESD活動を心がけたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

子どもたちが、ESD 的な資質・能力を身につけていくために、職員全体が共通認識のもと、各学年の活動を見直していく視点が浸透してきた。ユネスコスクールに認定された後、積み重ねてきた取り組みが、本校独自のESD 活動として形づくられてきている。

また、単発的な活動が散らばっている指導計画ではなく、活動を計画する際、段階的に内容を引き上げたり、関連性をもたせたりして、6年間を見通した指導計画に移行させていく意識が高まってきた。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度は、豊橋のESD としてキーワードになる「人をつなぎ 未来へつなぐ 豊橋の教育」の視点から、本校の活動計画を見直そうと考えている。本校独自に考え指導計画を練り上げてきたが、市内の情報交換が進むにつれ、他校の活動（指導方法・教材・成果）を取り入れるなど、本校のESD を今一度ブラッシュアップする時期に来ていると感じている。

そこで、各学年で計画する「総合的な学習の時間」の内、ESD 的な内容を特に意識した簡易な実践報告を、校内のESD 担当が集約し、校内における成果を、より具体的に可視化していきたいと思う。

毎年度、引き継いでいく活動が多い中、各学年の担当教諭がESD を実現する新しい取り組みに、少しでもチャレンジする環境を整えていきたい。